

党管内議員団が振興局へ要望

日本共産党根室管内議員団（団長：中村忠士別海町議）は22日、地域の要望等をまとめた「要望書」を根室振興局に提出し、担当職員と意見交換を行いました。



要望書を提出する党管内議員団 右から数間景子標津町議、中村団長、鈴木市議 撮影は橋本市議

管内共通の要望項目（大項目）は次のとおりです。

1. 農業・酪農業の保護・育成について
2. 水産業対策について
3. 「北方領土」に関する問題について
4. 矢臼別演習場について
5. 教育について
6. 地域医療の確保について
7. 環境保全、安全な生活の確保について

また、各市町からの単独の要望として、根室市からの要望項目は次のとおりです。

1. 景勝地におけるトイレ等の施設整備について
2. 野付風連道立公園の木道や駐車場の整備
3. 総合体育館の建設にあたって、避難所としての機能に対する財政支援を図ること
4. 病院の充実のための医療機器整備に対する北方領土隣接地域振興等補助金を拡充すること
5. 旧北海道根室西高等

学校（現根室市立柏陵中学校）に隣接する教員住宅について

意見交換の中で、橋本議員は、「北方領土」に関する問題について、北海道が主体となつて隣接地域と綿密な協議・連携を図りながら、新たな「一括交付金」制度創設など、長期的な視点での地域財源確保対策を確立するよう国に求めることを要望しました。振興局北方領土対策課は、平成30年の北特法の改正附則において「交付金に関する制度の整備その他必要な財政上の措置について検討を加える」と規定されたことから、道としては隣接地域や関係団体の考え方が制度の検討に反映されるよう、引き続き隣接地域などと十分に協議を重ねながら国に要望してまいると回答しました。

踏まえ、今後必要な木道整備を計画的に進めていくこと、駐車場の防護柵については、6年度に老朽化した木柵の全面撤去を行い、今年度は撤去した木柵の一部を整備すると回答しました。

鈴木議員は、現在根室高校が管理している、旧根室西高校、現柏陵中学校に隣接している教員住宅について、老朽化が著しい（本年4月、強風で建材の一部が飛ばされた）ことから、必要に応じて補修等の対応を行うことと、当該施設の今後の方向性（存廃等）を定める際には、根室市教育委員会などとも十分な協議を行うよう求めました。

また、野付風連道立公園の木道・駐車場整備について、振興局環境生活課は、令和6年度に木道の破損及び老朽化個所の調査を行い、その結果を

根室教育局は、補修等については根室高校と連携しつつ、緊急性や優先度を判断し実施していく、また、今後の方向性については、入居状況や地域状況を十分に勘案しながら、必要に応じて根室市教育委員会等と協議していくと回答しました。